

授業科目	皮膚科学（講義・演習、演習・実習）（皮膚悪性腫瘍指導専門医）（臨床専門医コース）		
取得する専門医の名称	日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医		
区分・単位	講義・演習 2単位 演習・実習 4単位	関連分野等	皮膚科、血液内科、整形外科、形成外科など
年次・期別	1年次—8年次・通年	曜日・時限	（講義・演習）火曜日午後7時から9時、 金曜日午後8時から9時、 （演習・実習）月—金 終日
教室	皮膚科学教室研究室、カンファレンスルーム	担当者電話番号	086-235-7282（岩月 啓氏）
担当教員	【研究科】教授：岩月啓氏，准教授：大野貴司 【病院】講師：浅越健治，助教：辻和英、白藤宜紀、藤井一恭、濱田利久、大塚正樹		
一般目標	皮膚科専門医を取得の後、さらに優れた皮膚悪性腫瘍の診療技術と知識を有する皮膚科医を育成する		
到達目標	1. 日本皮膚科学会皮膚科専門医資格規定を満たす皮膚科全般の疾患、診断の知識、治療経験を積み日本皮膚科学会認定皮膚科専門医を大学院在学中に取得する（5年次まで） 2. 日本皮膚科学会の定める日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医資格を取得する（修了まで） 3. 皮膚科学の臨床研究を理解し、自ら研究を施行し博士論文を専門分野の雑誌に掲載又は受理される。 4. 中国四国がんプロフェッショナル養育プランのガイドラインに基づきがん診療について学ぶ。		
講義概要	1. 皮膚悪性腫瘍講義（講義・演習） 悪性黒色腫、有棘細胞癌、基底細胞癌、乳房外Paget病、皮膚悪性リンパ腫などについて、診断法、術前検査と病期決定、治療法、術後経過観察、終末期緩和療法について学ぶ 中国四国がんプロフェッショナル養育プランガイドラインの共通コア、がん専門医共通科目について学習する。 2. 手術（臨床実習） 5年間に疾患（悪性黒色腫、有棘細胞癌、基底細胞癌、乳房外Paget病）を含め50症例以上経験する。 3. 抗がん化学療法（臨床実習）（演習・実習） 15症例以上の治療を経験する。 4. 皮膚悪性リンパ腫治療（臨床実習）（演習・実習）（岩月，大野，浅越，辻，濱田，白藤，藤井，大塚） 皮膚悪性リンパ腫の治療を5例以上経験する 5. 症例検討会（講義・演習） 皮膚科教室の回診カンファレンスに参加し症例の診断、治療法について学ぶ 6. 抄読会（講義・演習）（大野） 毎週金曜日の英文抄読会に参加し英語論文を読む。 7. 研究発表会（講義・演習）（岩月，大野） 毎週火曜日の皮膚科研究発表会に参加し、他皮膚科研究についても学び、一度は自らの研究を発表する。 8. 学会・研修会（講義・演習） 日本皮膚科学会総会、地方会、日本研究皮膚科学会、日本皮膚外科学会、日本臨床皮膚外科学会、日本皮膚悪性腫瘍学会に参加、自らも発表する。研修会に2回以上参加する。		
テキスト・参考書等	皮膚悪性腫瘍診断治療に関する専門書が多く出版されている		
成績評価基準 成績評価方法	毎週のカンファレンス、回診の出席 会での意見の発表内容も評価する		
研究活動との 関連	ウイルス感染症関連皮膚腫瘍に関しては教室のテーマである。		

基礎実習	細胞培養、PT-PCR 法、サザンブロット法などの基礎実験方法は毎週火、水、金曜日午後 5 時から皮膚科研究室で行っている。
臨床実習	入院患者は担当医グループに入り指導医と共に、診断治療を学ぶ。 外来患者は教授診察の補助と、見学を行い皮膚科診療法を学ぶ。
症例検討会	教授回診、症例検討会は毎週木曜日午後に行う。
講義日程	<p>講義は毎週火曜日午後 7 時 30 分から教室の研究内容の発表と発表内容に対して教授が講義を行う。 金曜日午後 7 時から皮膚科臨床症状報告の英語論文を抄読会後、皮膚の臨床症状について准教授が講義する。</p> <p>平成 20 年 9 月 19 日(金)午後 6 時—7 時 30 分 皮膚精神医学 (池田政身先生：高松赤十字病院)</p> <p>平成 20 年 9 月 26 日(金)午後 6 時—午後 7 時 30 分 皮膚外用薬の適切な使い方 (多田讓治先生：香川県立中央病院)</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第25回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 日時：平成21年5月22-23日 場所：岡山コンベンションセンター (ママカリフォーラム)</p> <p>第24回日本皮膚外科学会総会・学術集会 日時：平成21年6月20-21日 場所：名鉄犬山ホテル</p>